

骨と軟骨が原因で痛みがでない理由

もし骨や軟骨に神経があり痛みを感じるのなら歩いた時やジャンプした時にそれを感じるといませんか？

ジャンプする時には体重の2、3倍の負荷が関節にかかります。軟骨や骨に痛みを感じるくらいの神経があるのなら気になって歩く事はできないのです。

「**当院での改善方法**」は骨格の歪みを正して関節の負担を減らしてその炎症を抑え、痛みを抑えて関節の動きを良くしていきます。

(詳細は次回に！ページに収まらないので^^;)

「**関節包**」とは関節を包んでいるもので、この包みの中には関節に栄養を送ったり、滑らかに動くための液体が満たされています。簡単に言えば、軟骨が劣化しない為のオイルが入った袋です。関節が動くと軟骨がこすれ合うのですが、オイルがないと軟骨が劣化してしまいます。それを補っているのがこの液体で機械のオイルと同じような役割をしています。

「**関節軟骨**」とは骨にかかる衝撃を和らげるクッションの役割と関節が動く時の抵抗を抑える役割があります。関節が動く時に骨同士ではゴツゴツしちゃいますが、軟骨は骨に比べツルツルしています。このクッションはスポンジの特徴と似ています。このスポンジ(軟骨)は関節に体重がかかると潰れますが、体重が抜けると関節包に満たされている栄養を含んだオイルを吸いながら元に戻ります。軟骨が薄い、または潰れているとこのスポンジが潰れた状態で元に戻りきれない状態です。潰れた状態が続くと骨に負担がかかり関節が変形しやすくなります。

「**関節が痛む原因**」は主に関節周囲の筋肉と関節包の炎症や歪みによる関連痛です。炎症が起こる理由は、歪みからくる関節への負担や怪我になります。炎症が収まらないのは、先ほど関節包の中にはオイルが入っていると書きましたが、このオイルは関節に負荷がかかって動く事で新しいオイルが補充されるようになっていきます。関節が動かなくなるとこのオイルも劣化してオイルの滑らかさがなくなります。また発痛物質を溜め込んでいきます。この劣化したオイルが軟部組織の炎症を強くするのです。病院でやる関節への注射(液抜き、液入れ)はこの理由です。この注射はいい事ですが、関節の動きが悪いままではまた液が悪くなります。一緒に体の歪みを良くし関節の負担を減らしながら、関節の動きを良くする調整をする事でより良くなってきます。

筋肉は、ページが足りなくなったので次回に説明します(><)。

休日

水曜日、土曜の午後。

営業時間

午前(10:00~14:00)

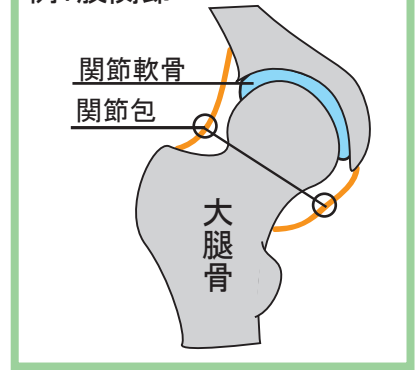
午後(15:30~19:30)

メールでの問い合わせ:matsukou@urumachiro.com

電話:080-1545-5637

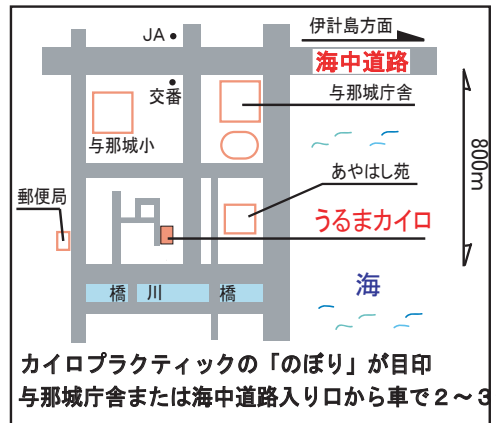


例:股関節



ブログ	
マッコウの出来事	検索

ホームページ	
促身健美	検索



カイロプラクティックの「のぼり」が目印
与那城庁舎または海中道路入り口から車で2~3分